

立ち読みPDF

出口 汪著 Hiroshi Deguchi

「論理力」短期集中講座

Forest
2545
Shinsyo

◎ **社会に出て成功するかは「論理力」にかかっている！**

あなたの話や文章が、相手にきちんと伝わっている自信はありますか？

考えを正確に伝えるのに論理力は欠かせません。

しかし、論理力は身につけるのが大変難しいというのも事実です。

現在、外資系の会社で実践されているようなアメリカ流の論理力が大流行です。

でも考えてほしいのは、私たちは日本人であって、日本語でものを感じ、ものを考え、表現しているという事実です。

ですから、規則に従って日本語を自在に使いこなせなければ、論理力はすべて砂上の楼閣にすぎません。

言葉の使い方を変えて論理力を身につければ、あなたの考えを適確に伝えられるように頭の中が変わってきます。

変化の激しいこの時代、社会に出て成功するか否かは、論理力の有無にかかっているのです。

私たちは生涯にわたって、論理力を武器に社会の中で戦っていくのです。

取引相手との打ち合わせも、会議の席での発言も、プレゼンテーションも、企画書やレポートも、すべて論理力が不可欠です。

鍛えるのが難しいといわれる論理力ですが、この本一冊で、誰でもみるみる論理的な言葉の使い方が身につき、それを道具として論理的にものを考えることができるようになるのです。

◎「頭そのもの」が変わる！

私は二十数年前、「感覚やセンスの教科」といわれた現代文に論理的方法を導入し、受験生の意識革命につとめてきました。

幸い私の書いた参考書は、二十年にもわたってベストセラーを続け、いまだに売れ行きは伸び続けています。

おそらく、累計で六百万部は突破しているでしょうか？ 一人の人間が書いた本が数十冊も、これほど長い間売れ続けているという事実は、後にも先にも例がありません。

ところが、受験生を指導するうちに大きな壁を感じるようになりました。

私が教えてきた受験生の中でも、もともと論理力のある生徒は、私の教えた方法をもっと簡単に消化し、驚くほど伸びていくのですが、論理力のない受験生にとって、私の言葉自体がまるで宇宙人の言葉のように、**ちんぷんかんぷんに思えるらしいのです。**

受け入れようとしても、頭が受けつけません。

まさに、論理力が必要な受験生ほど、それを拒絶してしまうのです。

そこで、私はここ数年、「論理エンジン」の完成に全力を傾けてきました。

論理エンジンとは、小学生から大人まで、誰でも手軽に論理力を養成できるツールです。

一千問の課題がシステムの配置され、順番にこなしていくだけで、みるみる言語

能力が高まり、論理力が鍛えられ、感性が磨かれていくというものです。

論理エンジンが完成するや否や、ほぼ一年のうちに、公立・私立の中学・高校で二百を超える学校が採用しました。

年齢に関係ないので、小学校や大学でも採用されています。

この力は受験生のみならず、いやそれ以上に、まさしく社会で生き抜くための強力なツールです。

そこで、「論理エンジン」を社会人向けに転用し、誰でも手軽に論理力を身につけることができる方法を提案したのが、本書なのです。

◎劣等生が一変した理由

実をいうと、私自身はずっと劣等生でした。

小学校以来、勉強が苦痛の種で、そこから逃げ出すことばかり考えていました。

劣等生という刻印を押された私は、自分の将来が真っ黒に塗りつぶされているような思いにたえず駆られて、生きることが苦しくて仕方ありませんでした。

大学受験もことごとく失敗しました。

三浪が決定したときはしばし^{ぼうぜん}呆然とし、もうまともな人生は歩めないと、心の中で思ったものです。

今でも、合格発表で自分の名前を探す場面を思い出します。

何度探しても自分の受験番号だけが抜けている、あの何ともいえない虚脱感が私の心のひだにしっかりと刻み込まれてしまったのです。

やがて三浪の末、私立の文学部に入学しました。

そんな私が大学院に進学したのは決して優秀だからではなく、将来の展望もなく、就職も無理だとすでに決め込んでいたからです。

そこでもやはり、劣等生であることに変わりはありませんでした。

大学の先生からも、先輩からも、三歳下の同級生からも、「駄目な奴」という刻印を押されたままでした。

何とか人から認められるようになりだしたのは、予備校の講師という仕事に本腰を

入れだしてからで、そのときはすでに三十を大きく越えていました。

私は大きく変貌へんぼうを遂げたのです。

かつての私を知る人は、今の私を見てとても信じられないという顔をします。それくらい、私は何もかもがすっかりと変わってしまったのです。

いったい何があったのですか、と人によく聞かれるのですが、それに対してどう答えていいのか分からず、戸惑うばかりです。

しかし、ただ一つ、これだけは言えます。

何か大事件があつて、ある日突然変身したわけではなく、毎日使っている「言葉」の使い方を変えただけなのです。

それまでは無意識のうちに、言葉をただ何となく使っていました。

ところが、予備校で現代文の入試問題の解き方を教えるうちに、論理的な言葉の使い方がだんだん身につけていったのです。

論理とは、言葉を一定の規則に従って使うことです。

私は講義で毎日「論理的に読み」「論理的に話し」「論理的に書く」ことを繰り返し

ました。

それによって、いつの間にか私の頭脳自体が変わってしまったのです。

これは私にとっても、まさに大きな驚きでした。

◎最小の努力で結果が出る理由

世の中には私よりも優秀な人間はたくさんいるし、成功した人間など数知れません。

ただ、「言葉の使い方」を変えたことで、私ほど大きく変わった人間はそういないと思います。

私が見ちがえるほど大きく変貌したように、実は誰にでもそれは可能なことなのです。

あなたがもし言葉によって論理力を身につけたなら、おそらくコミュニケーションもスムーズになり、人から信頼され、仕事もおもしろいほどうまくいくでしょう。

さらに論理力は、あなたの学習意欲や能力を高めます。あなたは知的で教養のある人間へと成長するのです。

本書の最大の目的は、言葉の使い方を変えることで、あなたの頭の使い方まで変えてしまうことです。

●本書の使い方

本書は大きく三部構成になっています。

第一章・第二章 理論編 論理や言語についての大切なことを理解します。あ

なたの人生を変える大切な要素がぎっしり入っている
るので、熟読してください。

第三章・四章 演習編 論理エンジンの問題をサンプルに、本当に必要とさ

れる言語力、論理力を身につける具体的な方法を学
びます。

第五章 実践編 実際に本書で学んだことを使って、論理的に書き、

日常的に頭を鍛える方法を学びます。

私が二十年かけて開発した「論理エンジン」のトレーニングの中から最適な問題を厳選して、最低限の文法を復習します。

問題をクイズ感覚で楽しみながら、あなたの頭を論理的に変えていきます。

初めて読む文章でもすばやく論理を追って読めるようになれば、難解な専門書の内容でさえも、すんなりと頭に入り、知識があなたの血となり肉となるのです。論理を追って読むことで、頭の中に「考える力」のストックができていきます。それをノートに残していくことにより、論理力が確実にあなたのものになるでしょう。

●注意事項

ここで出てくる問題は他の本で使うこともありますが、必要最小限に絞った結果でもあります。

答えよりはむしろ、自分がどう考え、どう解いたかにこだわること。

この本のトレーニングそのものは、それほど難解ではありません。しかし、そこまでたどりつくすじみちは、文章を書くだけでなく、あらゆる仕事をするのに役立つ「型」となります。

その「型」を完全に身につけることが本書の目的です。

さらに、問題を解くことで得られるものを意識してください。論理力さえ身につければ、仕事のあらゆる場面で役立ちます。

- ・ 文章をすばやく論理的に理解できるようになる
- ・ 自分の考えを的確に論理的な文章にすることができる
- ・ 相手が何を言おうとしているのかをスグに理解できる
- ・ 会議や商談で人の意見を汲み取り、説得することができる
- ・ 自分の考えが生まれ、ものを考える人間になる

後は、あなただけの言葉のストックを自在に操っていくだけです。
おもしろいように世界が変わっていくのを、みずから体験できるのです。

一日生きること、一日進歩することでありたい。

私の座右の銘ですが、人間生きているかぎり、たえず進歩し続けるものです。
そのためには、最初の一步を正しい方向で踏み出さなければなりません。

本書が、あなたの人生がやがて大きく変わる、その最初の一步になることを切に願っています。

それでは、講義を始めましょう。

社会に出て成功するかは「論理力」にかかっている！……3

「頭そのもの」が変わっていく！……4

劣等生が一変した理由……6

最小の努力で結果が出る理由……9

第一章

言葉が人生を劇的に変化させる理由

成績のいい人が優れている能力とは？……20

言葉が自在に使えると、なぜ得なのか……22

効率よく頭をよくするには……24

「書き言葉」があなたを変える理由……26

第二章

なぜ、あなたの話が通じないのか？

あなたのことなんて誰も分からない……30

自己中心人間の言葉遣いとは？……33

「愛撫の言葉」に注意……36

頭の中をスッキリ整理する道具……39

なぜ、得た知識を忘れてしまうのか？……41

言葉は体にしみこんでいく……44

一度身につけたら一生使える！……46

第三章

「論理エンジン」で言葉の基本を身につける

論理的に書くための六つのルール……50

本当に使える文法とは……51

第四章

考えを整理するための「論理エンジン」

文章が変わる第一歩……………	54
論理的文章のルール①……………	55
論理的文章のルール②……………	59
論理的文章のルール③……………	91
論理とは先を予想すること……………	102
論理的文章のルール④……………	106
論理的文章のルール⑤……………	109
論理的文章のルール⑥……………	115
確実に伝える工夫……………	124
シンプルで分かりやすい書き方……………	125
要点をとらせる簡単な方法……………	132
主張を伝えるために必要な二つの論理関係……………	137

第五章

考えるツールをつくる文章のストック法

- 知識を定着させる方法……………170
- 八頭身美人を創造する……………172
- なぜ、要約が論理力を鍛えるのか……………174
- 簡単にできて効果の大きい方法とは……………178
- 言葉を自在に使いこなすには……………180
- ノートにストックを試してみよう……………182

エピソード

- 無駄な努力をしないために……………219